



このところめっきり冷え込む日が続きますが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。立春を目前にしていますとはいえ、まだまだ寒さ厳しき折り、お風邪など召されませぬよう、お気をつけください。

第3回 研修講座

12月9日(木)三重県男女共同参画センターにおいて、第3回研修講座が行われました。会員の皆様のご協力をもちまして、今年度最後の研修講座を有意義に終えることができました。誠にありがとうございました。

(講座終了後のイルミネーションは、皆様もご覧になりましたでしょうか…?)



講座Ⅰ「学校財務の現状と今後の課題」

全事研報告「学校財務フォーラムより」 全国事務研 理事 中村 優さん

全国事務研理事の中村 優さんから、学校財務フォーラムの内容を中心に全国事務研の報告をいただきました。国の経済対策により、デジタル放送対応のテレビ、パソコン、電子黒板などのICT機器が学校に入ってきました。これらの新しい教材の活用について、資料室や教材室からいちいち出すのではなく、教室に置いて活用をはかることや、学校だよりについて、事務職員が企画、編集をして学校財務の情報を掲載することなど、今までの仕事に対して、視点を変えて考えてみるよい機会になりました。全事研ホームページアドレスはこちら→ <http://www.zenjiken.jp/>



実践報告「県内各地のとりくみ」 県内各地3名の会員の方から実践報告をいただきました。

津支部 南が丘小学校 安井 祐子さん

伊勢支部 中島小学校 篠田 章子さん

伊賀支部 蔵持小学校 宮部 優さん



グループで共同の見積もり合わせをしています。以前はカタログを教育委員会

へ出して、学校は支払い事務だけをしていましたが、物品の納入が遅くなるため、とりくむことにしました。

今までに経験がないことを立ち上げるには苦労しました。また、担当者は膨大な資料を作成することになりますが、物品の納期が早くなり、事務職員のスキル向上にもつながっています。



予算委員会のとりくみで財務事務にもっと積極的に関わりながら、教育支援の

できる共同実施を目指しています。

会計事務マニュアルの作成にあたり、内容など各校で差が出ますが、意見交換を大切に進めています。教職員が保護者負担の会計について考えるようになったり、意識も高くなりました。

今後も適正な執行と負担軽減につめていきます。



学校の予算委員会をよりよく運営するため、数年前から予算委員会マニュアル

の充実を共同実施で行っています。財務担当のアンケートでは、納付金マニュアルの作成や、未納者への対応など様々な問題にかかわっていきたいという前向きな意見が寄せられました。

このようなとりくみを少しずつ発展させて、全体でよりよいものにしていきたいと考えています。

講座Ⅱ「学校組織の今後のあり方」

講師 元亀山市立亀山中学校長 榎谷 英一さん



元亀山市立亀山中学校長の榎谷英一さんから、学校組織の今後のあり方をテーマにご講演いただきました。スクールマネジメントのために、事務職員の方にはこういう教材がいいのではないかと、トイレの改修はこうすればいいとか、学校環境を整備することで経営に関わってほしい。また、子どもの現状から見えるものは、例えば、携帯電話を8割以上の子どもが持っている。あるいは、就学援助が2割を超える市もある現状で、テストの点数をあげるだけでいいのかと思う。そして、忘れていけないことは、子どもの現実だけを見るのではなく、背景も見て理解することなど、学校教育の未来のためにやるべきことを教えていただき、感動的な内容の講演でした。

講座Ⅲ-1「教育活動活性化計画」 三事研 研究部



三事研研修部より、教育活動活性化計画について提案させていただきました。学校教育活動を活性化するためにはどうすればよいか、三事研役員にアンケートを取りました。「活性化に向けた学校事務の実現」のための三つの柱（情報、財務、安全）に関わっていきながら、組織全体を見た4つの視点で、学校事務の検証を進めていきたいと考えています。

講座Ⅲ-2「教育活動と学校事務のかかわり」 講師 三重大学教育学部 准教授 織田 泰幸さん



第2回研修講座に引き続き、織田泰幸さんを再びお迎えいたしました。教員の授業を観察に行くこと、働きやすい環境を整備することは大切ですが、さらに主体的な教育活動へ向け参加していくために「エコスクール」などの教育活動への関与モデルを例示していただきました。日頃の仕事を題材に、授業に協力していくことができれば素晴らしいと思いました。

支部の風景 北から南から

今回は員弁支部の紹介です。



いなべ市立石樽（いしぐれ）小学校は老朽化にともない平成17年1月に建て替えられました。建築にあたっては地域住民参加による「新校舎建設委員会」が発足し「みんなで作る、みんなのための、新しい石樽小学校」を合い言葉に地域、PTA、学校が中心となり計画されました。

文科省やいなべ市からコミュニティスクールの指定を受け、新校舎の地域ゾーンを活用して日曜日や放課後に様々な講座や催しが行われています。

新校舎は平成19年に中部建築賞、平成22年公共建築賞を受賞しました。

明るくてきれいな
校舎ですね…。



研究大会のご案内

第42回 東海地区公立小中学校学校事務研究大会（名古屋大会）

日時 平成23年2月9日(水) 10:00～
場所 中京大学文化市民会館オーロラホール（全体会・分科会）
愛知県産業労働センター（分科会）
※資料の引き替えは中京大学文化市民会館のみです。
東海大会ホームページアドレスはこちら↓
<http://www.wb.commufa.jp/tokai42/>

三重県からは尾鷲支部の発表が行われます。

第4分科会

「子どもの育ちを支援する共同実施を目指して！最初の一步」

全事研セミナー

日時 平成23年2月25日(金)
10:00～
場所 文京シビックホール
(東京都文京区春日1-16-21)

参加者
追加募集中



お知らせ

東海地区 学校事務会報
県大会 アンケートの結果など
三事研ホームページに
掲載しています。



また、事務の手引きのコーナー
ひろばのコーナーを設置しました。
どうぞご覧になってください。

三事研ホームページの
アドレスはこちら→<http://miejiken.jp>



平成23年度 第48回 三重県公立小中学校学校事務研究大会 50周年記念大会

～50年間の軌跡を確認し、さらなる未来への展望を～

日時 平成23年10月21日(金)
場所 三重県総合文化センター